

第36号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所  
 靈 龜 山 九 島 禪 院  
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18  
 ☎06-6583-2725  
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

大阪にオリンピックを！  
 九条に中華街を！  
 阪神西大阪線延伸決定！

# バミリアン巨大仏像破壊

— 仏像は祈りの対象です —



今年三月、内戦が続くアフガニスタンでイスラム原理主義勢力タリバンにより、同国中部のバミリアンにある世界最大の石仏二体が破壊されました。タリバンは「神はアラーム・ド・オマル師は「神はアラームの神だけであり、偶像は今もこれからも誤って崇拜されないよう破壊すべき」と布告を出し、バミリアンの石仏のほか、ガンダラ美術の宝庫と言われた首都カプールの国立美術館収蔵の彫像までもが破壊されたと伝えられています。

アラブの国々を訪れる時には人形をお土産に持っていきません。イスラム教では偶像崇拜を禁じているので、偶像である人形は、空港で係官が人形の首を無残にもちよん切ってしまうのだそうです。

仏教の場合には、別段、偶像崇拜が禁止されているわけではありませぬ。なぜなら、悟りを開いた聖者である仏陀が人間だからです。

イスラム教ではアラームの神は

人間をこえた存在、唯一絶対の存在であり、そのような神の像をつくるなら、神はとたんに低次元で卑俗な存在になってしまいうからです。なぜなら、創られた像に対しては、人間は好き・嫌いを言いはじめるとしようしてもっと美しい像を考案することが出来るからです。つまり、創られた像は比較の対象となり、相対的な存在でしかないからです。像を創ることは神を卑しめることになり、偶像を禁止したので

仏教では、人間である仏陀の死後六百年の後に釈迦さまの説かれた經典ができましたが、どの經典にも、その仏さまの姿、形について全く触れられていません。そこで、釈迦さまのお姿について伝えられている特徴（如来の三十二相・八十種好）をもとに、紀元後一、二世紀の頃に、最初にお釈迦さまの像が創られました。

つぎに、經典のなかにで多くの仏さまの像が、お釈迦さまの姿をもとに創られたので

です。經典に説かれる仏（ほとけ）は、宇宙大に拡がった毘盧遮那仏だとか、極楽世界の阿彌陀仏など、私たちには目に見えない存在で、姿・形のない仏を拜むために仏像が創られたのです。

したがって仏像は、仏（ほとけ）の究極・最高の姿を刻んでいるのです。だから、仏像は美しく、自然に手を合わせたくなってお姿をしています。しかし、仏像は美術品ではありません。あくまで祈りの対象であることを忘れてはなりません。

現在、アフガニスタンにはこれら仏像を信仰の対象として礼拝する者はおらず、仏像の存在が同国のイスラム社会に悪影響をおよぼしているとはいえます。仏像という文化財を人質に国連の制裁緩和をねらったタリバンの蛮行には憤りを感じますが、私たち日本人にとって「仏像とは何か」と思いを巡らせるべきではないでしょうか。

